

# THE-KOBECCO

創刊13周年記念号

30

MARCH 1974 NO.155

神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可

昭和49年3月1日印刷 通巻155号

昭和49年3月1日発行 毎月1回1日発行



神戸文化ホール 級懐・上 / 原画



## Soft & Elegance

赤い風船は私のこころ 今にもあなたのところへ飛んでいきそう

婦人服飾  
KOBE

ベニヤ

神戸

三宮センター街 391-5528・9

さんちかレディス・タウン 391-1204

東京

日本橋東急百貨店 1F 211-0511

大阪

梅田阪急三番街 372-8093

上本町近鉄百貨店 2F 779-1231

ミナミ地下センター 213-6128

モデル／浦谷三世

Photo／藤原保之

あなただけの思い出を  
たいせつに……。



世界の宝石店

**MIKIMOTO**

神戸店—三ノ宮—神戸国際会館

☎221-0062

●大阪支店—堂島—新大ビル ☎341-0247

●京都支店—河原町蛸薬師BAL ☎241-2970

●大阪—阪急・阪神・高島屋・松坂屋・

近鉄アベノ店・近鉄上六店

●本店—東京・銀座 ☎535-4611

©-1974 株式会社ミキモト

## 旅のスケッチ<3>

フランチェスカのウルビーノ公夫妻像をみる/絵・文 西村 功

本物にふれた感激は忘れられない  
ウフィツィ美術館にて



# 神戸つ子'74

「神戸つ子」13周年記念第3回

## B M ブルーメール賞 音楽部門受賞者 クラシックバレエ

一筋に生きる

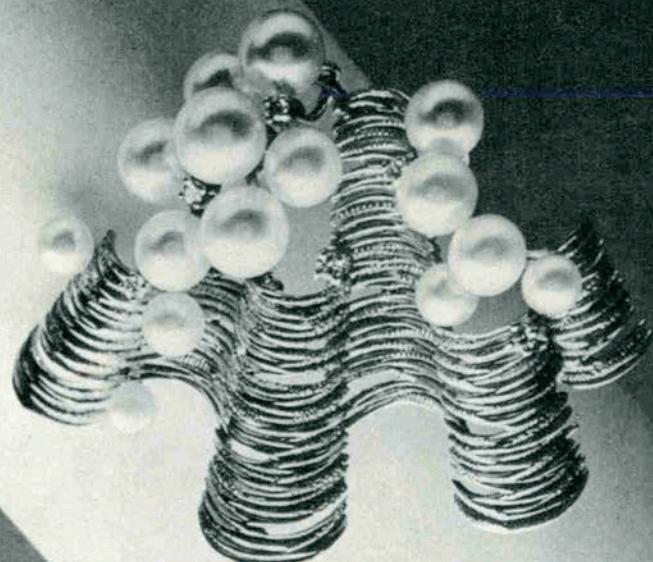
上月倫子（クラシックバレエ）

上月倫子—クラシックバレエ一筋に生きる女。谷桃子に師事した当時は「白鳥の湖」の黒鳥という“動”的役をもっぱらとしていた。それから十年。昭和四十七年の「バクチサライの泉」の主役マリアを演じてから彼女の内面における変貌が始まる。それまでの黒の役から白の役、『動』から『静』の領域へ。成熟するにつれ、外のみてくれる華やかさから、内面の奥深い处からいぶし銀の如き光輝を放つ演技へと。今、彼女の脳裏を去来するのは、舞台の上で青白く燃える彼女自身の姿なのではないだろうか。現在、上月倫子バレエ研究所で六十名を指導。しかし、ここ二、三年は舞台に賭けるという。この六月の神戸文化ホールでの創作舞踊「驚娘」で彼女の一つの「昇華」を見る事ができるだろう。松蔭女子短期大学卒業。32歳。神戸市在住。カメラ／藤原保之



パールとダイヤのブローチ K14 ¥210,000

ご愛顧20年 田崎真珠



# TASAKI PEARLS

◎本社・神戸市兵庫区旗塚通6-3-10 TEL.231-3321 ◎パールファーム神戸・神戸市灘区六甲台町24 TEL.871-9289 ◎さんプラザ<sup>®</sup>店・神戸さんプラザ<sup>®</sup>ビル3F TEL.391-4085 ◎大阪支店・大阪市南区安堂寺橋通3-38-2南大和ビル5号館 TEL.253-0165 ◎大阪プラザ<sup>®</sup>店・大阪ホテルプラザ内 TEL.458-2449 ◎福岡支店・福岡市中央区赤坂1-11-13大福ビル TEL.781-5161

田崎真珠

カタログご希望の方は上記までご連絡下さい。



あなたの真珠はパールマークのお店で

神戸つ子  
'74

「神戸つ子」13周年記念第3回

# B M ブルーメール賞 芸能部門受賞者

伝統芸への  
情熱を秘めた人  
吉井順一 〈能楽師〉



「日常生活が舞台に出る」と考へ、毎日の生活ぶりにまで気をつかう生真面目な人柄である。六百年の伝統を守っているというプライドが、練習しなければならない義務を自分に与え、また「芸」は頭で割りきれるものではなく、稽古を積み重ねて体得していくしかない、さりげなく話す。好きな言葉が世阿弥の「秘すれば華なり」。控え目な語り口に「芸」への情熱を激しく秘めている。

昨年五月、神戸能楽殿で能最高の大曲「道成寺」（赤頭）に取り組んだことで今回の賞が贈られた。一年前から取り組んだとなにげなく言う。「先輩からまだ吸収させていただきたいのに、後輩に与えていく年代になりました、責任を感じます。神戸の能楽のために芯のあるものを残したい」と、終始真面目な答えが返ってきた。42歳。一男一女の父。西宮市自宅稽古場で。カメラ／米田定蔵

確信を持って  
タジマの眼が選んだ  
宝石の名品



白金台ダイヤ入りスターサファイアリング

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に応じておりますのでお気軽にご利用下さい。  
定休日は水曜日です。

.. 宝飾店  
*Tajima*  
タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

# 神戸つ子'74

「神戸つ子」13周年記念第3回

## B.M ブルーメール賞 文学部門受賞者 心象の世界と 言葉と

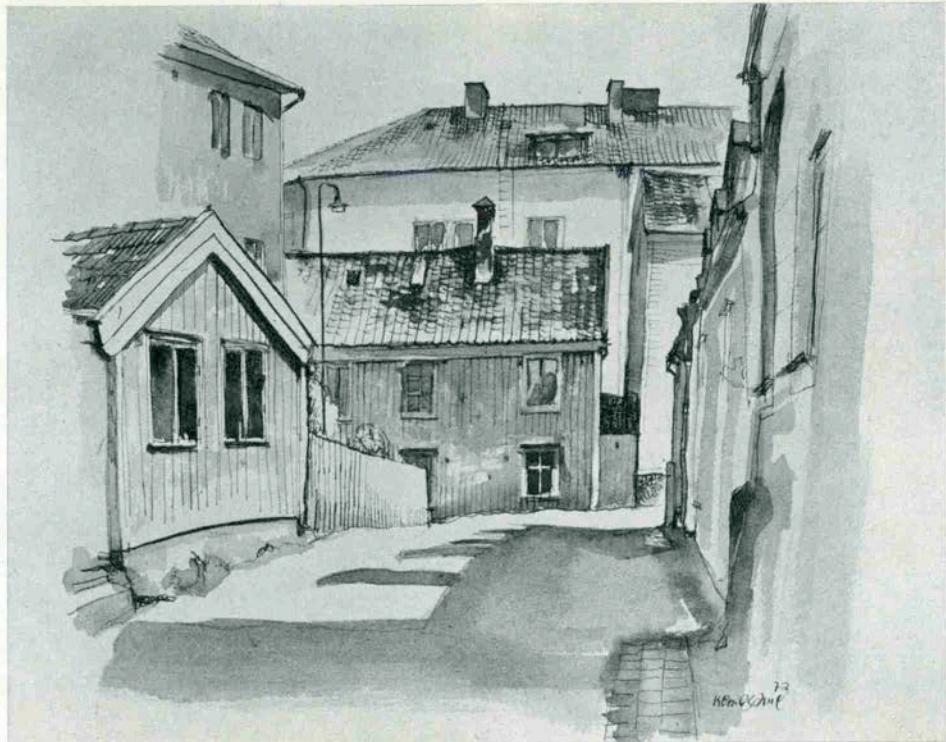
小泉八重子 〈俳人〉



城なら——落城。その、最も美しい終焉。  
白鷺城の美しい姿に親しみ育ち、城が大好きだった少女。城を離れ、年を隔て、蘇える城は落城いろをしていた。つめたく透明な——薄明の音色——(「水煙」に寄せた赤尾兜子さんの序)。「人として誰もがひそめ抱いている原罪に似た哀しさ、徒労の泡粒を句の底に炎やし続け」(あとがきから)た小泉八重子さん。その句の「ほの暗い」世界。心象世界を、言葉に固定することに執拗なまでに誠実であった15年間の作品を集めた処女句集「水煙」は、彼女の内面風景をのびやかに浮きあがらせている。「渦」「俳句評論」同人。現代俳句協会員。第一回「渦賞」受賞。尼崎市在住。武庫川畔にて。

カメラ／米田定蔵

黄色い壁  
ブルーに輝やく空  
過ぎ去った



人々の想い出がこの建物と共に今なお生きている。



宝石各種



**神戸ダイヤモンド**  
**KOBE DIAMOND**

TEL. 078(331)0690・2397

# 神戸つ子'74

「神戸つ子」13周年記念第3回

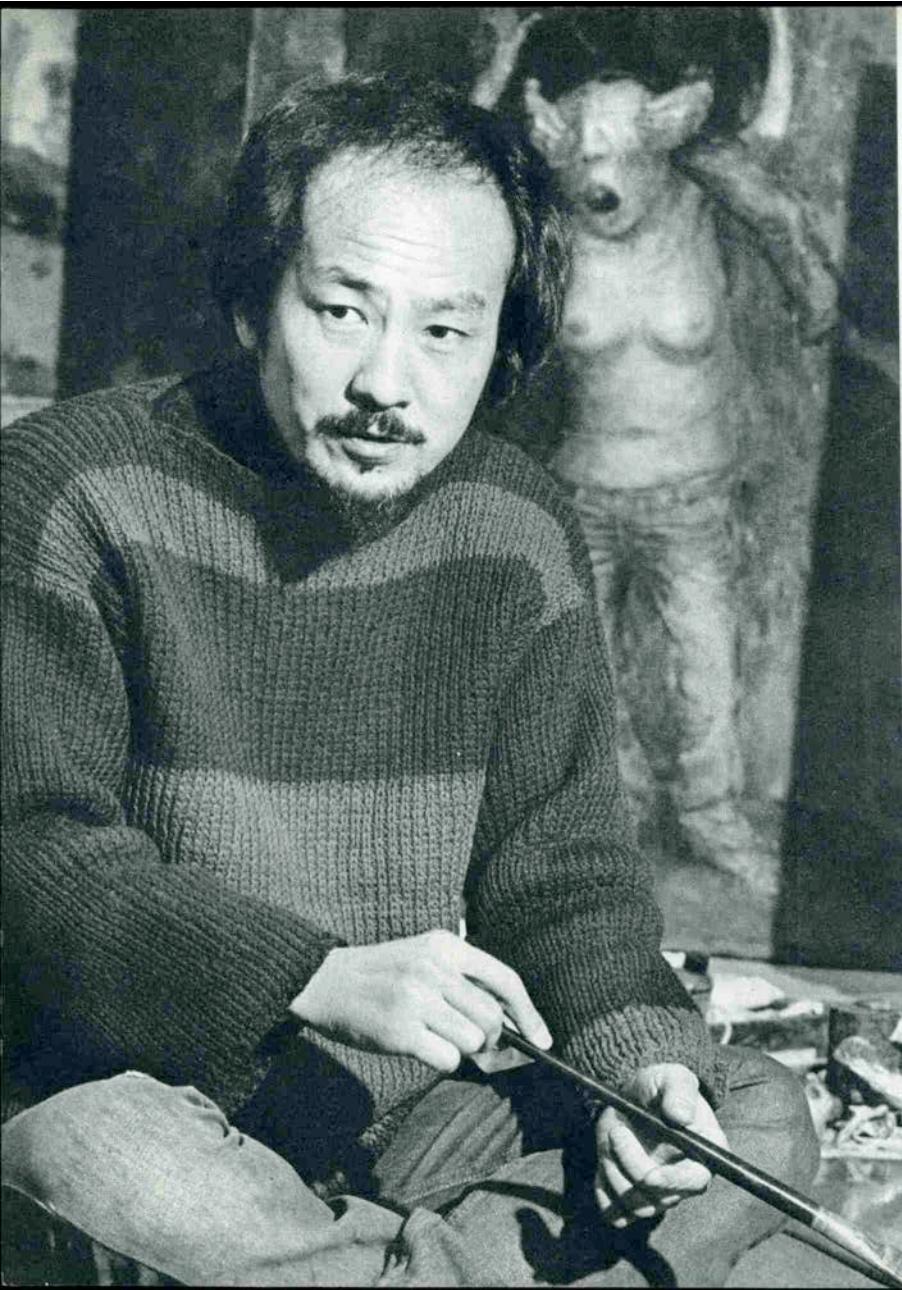
## B M ブルーメール賞 美術部門受賞者

生活と密着した  
庶民感情を描く

小西 保文 〈洋画〉

久々の昨年（神戸元町画廊・東京紀伊國屋画廊）での個展で、今まで蓄積していたものを一気に爆発させ、やつたな——という印象を見る人に与えた。  
かたくなな素朴さと土の匂いのある人間の姿、そのままで美になりがたいものを剥き出して裸にし人間の原形を追う小西さんの絵は「絵かきは美しいなと思うものをとりだすのになりぶりなどまっちゃおれん」というご本人の言葉どおり、本当に絵かきが絵を描いたという印象をうける。作品発表に謙虚というか慎重であっただけに今までの力をまとめて発表させ、決してこのまま留まることなく、もっと伸びる人であると高く評価されている。兵庫区在住。43歳。

カメラ／藤原保之



# 神戸っ子 ギヤラリー

西村 功  
(二紀会会員)

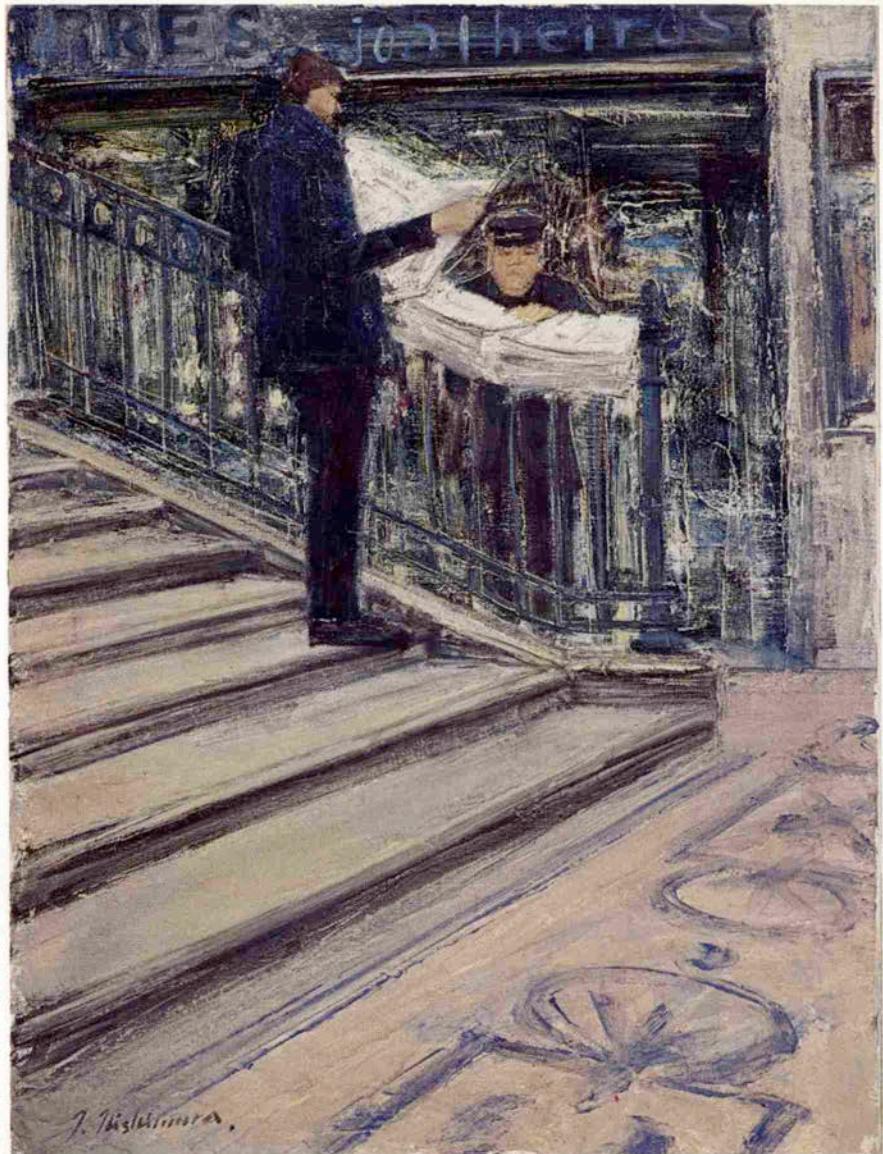


西村功の描く人間には耳がない。絵と向かいあつた時、強く強く張った弦を爪で弾くとビンと鳴ったきり微妙な振動をみせながらも何も発しないそんな状態を思いださせる。絵と向かいあつた時、やがて来るであろう電車の音や人々の笑い声、話し声や街の雜踏を聞こうとして耳を澄ましているんだけどなんにも聞こえてこない。でもそこで描かれている人はみな、胸を張り前を向いて生きている。血のかよつた人間が自分の上にもたらされた運命のドラマを精一杯演じている。モデルの取り澄ました顔でもなく、街の上つ面を撫でただけの絵葉書でもない。そこに住み生きている人が胸を張っている。——不思議な静寂の世界と出会う。

幼ない頃、中耳炎を患つて耳が完全に聞こえなくなってしまった。音のない世界に住む西村功には、とつても広い心の世界がある。温かくやさしい心の世界がある。「人間の創りだすドラマ（哀愁）」を描きたいと思う。ただそれをユーモアのある、ちょっと皮肉なものとして描きたい」と語る。淡くそれでいて現実観をもたせる色調の中に、ほのぼのと漂つ西村功の心の世界が見える。

この三月下旬、約一年の予定でパリに向かう。旅行者としてでなく、パリでじっくり生活してみて人間達の息吹に触れたいと。肌で感じたパリの空気は、また不思議な静寂の世界として甦えるだろう。

にしむらいさお  
一九四三年大阪に生れる  
一九四八年帝美（武藏野美大）卒業  
一九五〇年二紀会  
会員推举  
一九五七年第一回安井賞展出品  
朝日新人展出品  
一九五九年兵庫県新鋭作家シリーズ展出品  
一九六一年大阪フォルム画廊にて個展（以降  
毎年開催）  
一九六二年第六回  
安井賞展出品  
一九六三年第七回安井賞展出品  
一九六五年新鋭作家十五人  
展出品  
一九六六年第九回安井賞展出品  
一九六七年第一回レヌ・ラ・スル展出品（以降  
毎年出品）  
一九七一年名古屋九栄にて個展  
一九七二年渡欧  
東灘区在住



新聞売り(リスボン)  
12号 F

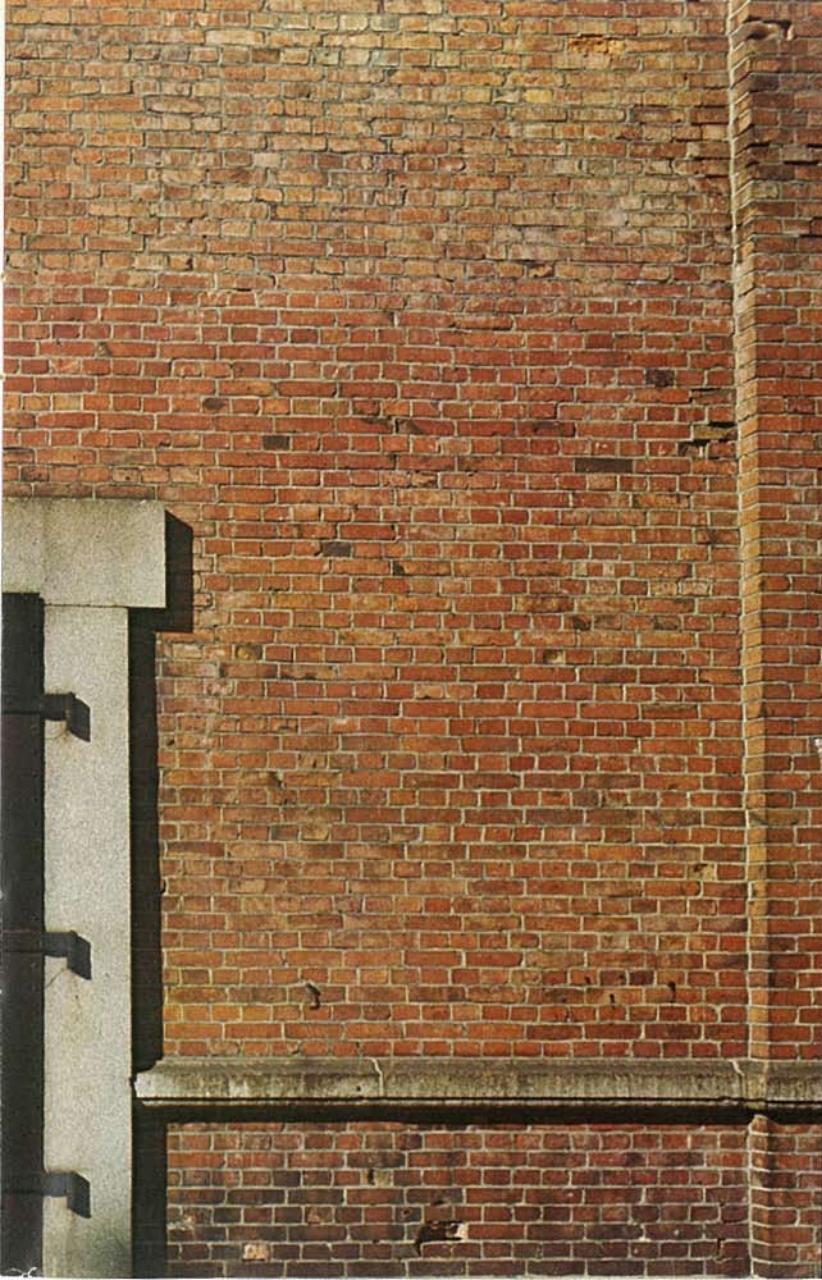
# 神戸のディテール

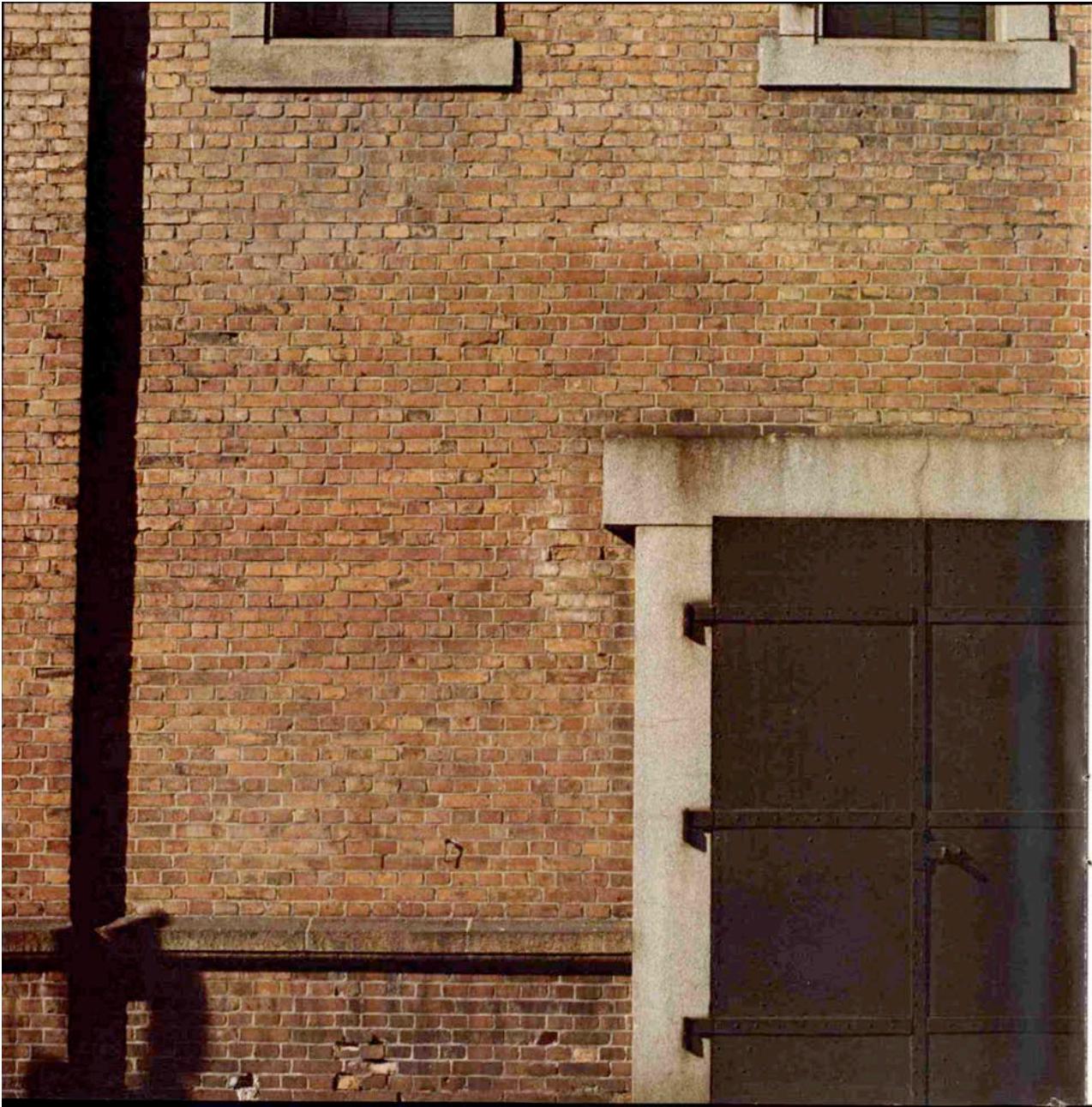
Detail of KOBE

12

石阪 春生

写真／杉尾友士郎

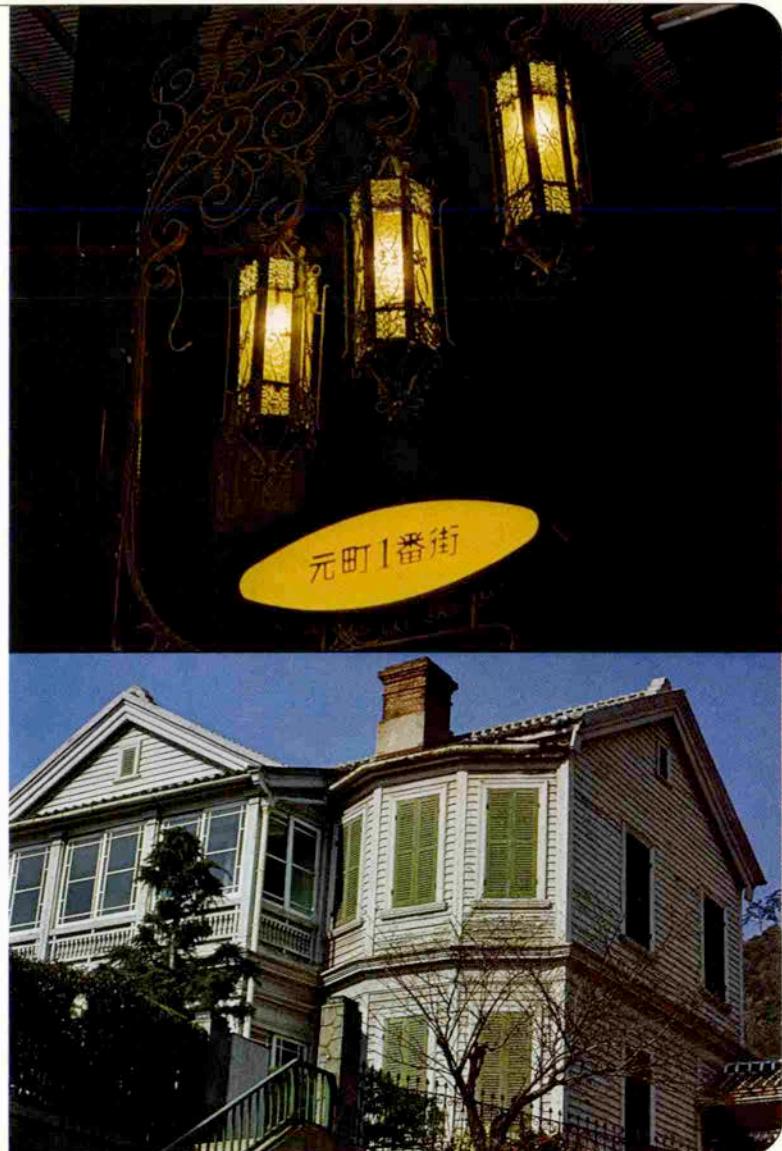




ハイカラ神戸の伝統を生かした  
元町一番街の  
ロマン漂うれんが道は  
春、3月31日完成いたします。

詩のある れんが道

元町1番街



# MOTOMACHI SHOPPING



# ネクタイは男の勲章



ミリタリーシリーズ <7> 1815年イギリス第2竜騎兵連隊将校



ネクタイの

元町バザー

神戸元町1番街

TEL331-7031

東京 東急百貨店

渋谷本店／日本橋店



これは神戸を愛する人々の雑誌です。  
あなたのくらしに楽しい夢をおくる  
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ  
これは神戸っ子の手帖です。

## 3月号目次

- 5 '74ブルーメール賞受賞者／上月倫子／吉井順一／小泉八重子／小西保文  
12 神戸っ子ギャラリー(3)／西村功  
14 神戸のティテール(12)／石阪春生／カメラ・杉尾友士郎  
21 わたしの意見／青木啓  
22 ブルーメール賞発表  
25 ブルーメール賞選考座談会  
44 隨想三題／青野聖子／橋本武／青木重雄  
48 ある集いその足あと／コーベ・カメリア・ソサエティ  
50 れんさい隨想／早春譜／楠本憲吉  
52 隨想／花隈の屋根の下／村上常一朗  
55 神戸っ子対談／柏井健一／上島達司  
59 経済ポケットジャーナル  
60 技術ジャーナル／諸岡博熊  
63 アンデル線／岡田淳  
66 ファッションインタビュー／三宅一生  
75 ある集い／コーベ・カメリア・ソサエティ  
76 神戸百景／カメラ・小山保  
82 ファッションアイ／カメラ・杉尾友士郎  
112 神戸の顔(3)／キン・ヨシさん／文・野口武彦  
113 今月の催物ご案内  
120 神戸のアーバンデザイン・モダーンリビング／水谷頼介  
122 神戸を福祉の町に／ホームヘルパー／橋本明  
124 神戸遊戯誌(125)ホッケー①／青木重雄  
126 動物園飼育日記／亀井一成  
132 ニューヨークからの便り／竹田洋太郎  
134 淀長立見席／愛の貴品／淀川長治  
136 女体百景／カイロの女／H・ジュニア  
138 びとといん  
141 神戸百店会だより  
142 ポケットジャーナル  
147 連載小説／まだ遅くない／葉月一郎／え・小西保文  
152 連載小説／曲線ハイウェイ／武田繁太郎／え・横塚繁  
166 ボエムドコウベ／詩・平田守純／カメラ・藤原保之  
168 海船港／水上消防署

表紙／小磯良平(部分) セカンドカバー／旅のスケッチ／西村功  
カメラ／米田定蔵／藤原保之  
目次作品／植松室二「樹・人・ロープ」



'74 SPRING-SUMMER fashion

# そして優しく

風がわたり  
ふわり春がゆれる  
おしゃれ  
それは心のつぶやき  
ご卒業あめでとうございます。



東京・キンザ

Sah-ai 三愛

三宮店 ビンター街さんフラザビル2・3F  
AM11:00～PM8:00 ☎ 391-6861